

指定管理者制度導入施設 モニタリングチェックシート

(平成 28 年度 上半期(4月～9月) の管理運営状況)
年間 (4月～3月)

施設名	秋川溪谷戸倉体験研修センター	指定管理者	新四季創造株式会社
指定期間	平成 27 年 10 月 1 日から 平成 30 年 3 月 31 日まで	担当課	観光まちづくり活動課 ふるさと文化創生係

1 業務の遂行状況及び収支の状況

項目	分類	年間計画 (A)	実績 (B) (モニタリング時)	対計画比率 (B/A×100)	
業務の 遂行状況	開館日数 (日)	307	158	51.5%	
	延べ利用者数 (人)	16,585	12,790	77.1%	
	事業開 催回数	必須事業：宿泊 (回)	76	47	61.8%
		自主事業：体験 (回)	76	21	27.6%
収支状況	収入	指定管理料 (円)	21,990,000	10,180,560	46.3%
		利用料金収入 (円)	21,794,000	5,957,567	27.3%
		体験飲食等事業収入 (円)	13,297,000	6,114,060	46.0%
		その他の収入 (円)	0	61,462	-
	収入計 (円)		57,081,000	22,313,649	39.1%
	支出	人件費※ (円)	23,997,000	9,864,034	41.1%
		維持管理運営経費 (円)	25,633,000	4,673,238	18.2%
		その他の支出 (円)	6,316,000	2,416,255	38.3%
		支出計 (円)		55,946,000	16,953,527
収支 (収入－支出) (円)		1,135,000	5,360,122		

指定管理者の自己評価 (改善点、その他特記事項)

【開館日数・利用者数について】 開館日数：158 日・利用者数：8,708 人 (貸出室利用者数：2,426 人) (見学利用者数：1,656 人) 延べ利用者数：12,790 人	【事業の実施状況について】 体験事業は、農業、座禅などを中心に 宿泊者のニーズに合う企画を提案し 誘客を図った。自主事業である飲食営 業については、地元野菜、懐かしさを テーマとした商品で売上げの増進に 努めた。	【収支状況について】 計画的な雇用で人件費を抑制した。 また、光熱水費については、冬季間 の営業での燃料費の使用量が大幅に 増えるため、夏期までの支出を抑制 した。収入については計画どおりに 推移している。
---	---	--

所管課の評価 (指摘事項)

【開館日数・利用者数について】 当初の計画どおり開館できている。夏 季の利用を含め、順調に利用されてい る。	【事業の実施状況について】 体験事業や食材の提供など、戸倉地区 の方々の協力を得ており、地域の活性 化につながっている。	【収支状況について】 計画的な人件費の抑制と維持管理費 等の削減に努めている。
--	--	--

※人件費には、自主事業である飲食に係る人件費を含む。

2 チェック項目

評価項目・評価事項 (数値目標)	確認資料等	指定管理者の 自己評価	所管課の評価	
受付等の業務	施設の利用許可等を条例に従い適切に行っている	日報、申請書	適正・要改善	適正・要改善
	使用料、利用料金の徴収、減免を適切に行っている	日報、申請書	適正・要改善	適正・要改善
施設・設備の 維持管理	消防設備、機械設備の保守点検や施設の修繕等を適切に行っている	各種点検結果報告書、実地	適正・要改善	適正・要改善
	衛生環境を維持するため清掃業務等を適切に行っている	日報、実地	適正・要改善	適正・要改善
	備品等を適切に保管・管理している	備品台帳	適正・要改善	適正・要改善
	業務の全部又は主たる業務を第三者に請け負っていない	実地	適正・要改善	適正・要改善

安全性への配慮	安全管理、衛生管理、危機管理に関するマニュアルが整備され、また、職員等に対する指導訓練が適切であり、市への通報体制が整っている	危機管理マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	避難経路の確保、事故防止策や防犯等の警備業務など利用者への安全対策が講じられている	実地	適正・要改善	適正・要改善
	損害保険等の必要な保険に加入している	保険証書	適正・要改善	適正・要改善
透明性・公平性	ホームページ等により施設の情報の公開に努めている	ホームページ	適正・要改善	適正・要改善
	情報公開に対する体制を整備している	情報公開マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	利用者の平等な利用が確保されている	日報、申請書	適正・要改善	適正・要改善
効果的・効率的な運営	苦情や利用者アンケートによる意見、要望等を管理運営に反映している	電話による問合せ利用者アンケート	適正・要改善	適正・要改善
	施設の利用者拡大の取組を行っている	日報、事業報告書	適正・要改善	適正・要改善
	経費削減のための取組を行っている	日報、事業報告書	適正・要改善	適正・要改善
	広報紙、チラシ、ホームページなどにより積極的に事業等を周知している	広報紙、チラシ、ホームページ	適正・要改善	適正・要改善
人員配置・人材育成等	事業計画書とおりの人員を配置している	14人 人員配置計画	14人 適正・要改善	適正・要改善
	事業計画書とおりの職員の指導育成や研修を行っている	2回/年 研修マニュアル	実施回数 2回 適正・要改善	適正・要改善
	障がい者や高齢者の雇用促進に努めている	40% 人員配置計画	40% 適正・要改善	適正・要改善
	労働法令の遵守や労働条件への適切な配慮がなされている	社用就業規則	適正・要改善	適正・要改善
個人情報の保護	個人情報を保護するための取組を行っている	個人情報保護マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	文書管理を適切に行っている	保存文書	適正・要改善	適正・要改善
自主事業の取組	自主事業の実施により、市民サービスの向上に努めている	事業報告書、日報	適正・要改善	適正・要改善
環境への配慮	省エネルギーの取組、環境負荷低減、ゴミの減量など、環境への配慮に取り組んでいる	日報、月報	適正・要改善	適正・要改善

※評価基準

「適正」：その項目について、協定書、事業計画書等に沿った適正な指定管理業務を行っている。

「要改善」：その項目について、協定書、事業計画書等に照らし合わせて、目標達成されておらず、改善の余地がある。

3 上記1、2の評価に関する所見

指定管理者による所見（改善点、その他特記事項）	<p>前例のない廃校運営でしたが、平成28年4月9日の開業以来、子ども主体のスポーツ団体の予約を中心に受け入れ、地域の特色ある体験活動を取り入れながら、これまで安全・安心を心がけ、施設の維持管理、運営を行ってまいりました。体験活動については、収穫、座禅、ものづくり体験を主軸とし、好評を得ています。また、宿泊の予約規定が2年先まで受入れ可能となったため、お客様のニーズに応えられるようになり、現在、多くの予約を受け、特に夏季については2年先まで予約が入っている状況にあります。飲食営業では、地域の農家さんと良き関係を築き、野菜を中心とした仕入れを心がけ、地産地消に努めております。一方、職員研修については、体験活動における安全管理者研修やリスクマネジメント講習など、積極的に取り組みました。今後、更に、市及び地域と連携を強化し、地域活性化の取組に、企業努力してまいります。</p>
市による所見（指摘事項など）	<p>平成28年度上半期（4月9日から9月30日）は、開業1年目の夏休み期間の集客が順調に進み、新規顧客を受け入れた。宿泊した団体の大半が翌年度の予約をしていく背景には、施設の管理、接客、食事、体験の受入れ等、地域との関係性を良好に保っている結果であり、管理運営に対する努力を評価できる。</p>